

全校意見発表会

本校では毎年2学期、全校生徒が一堂に会して、生徒により考え抜かれた珠玉の意見を聞く機会を設けています。意見は、環境問題や人権問題、ネット社会や生き方に関することなど、身近なことから時間的・空間的に広がりを持つものまで多岐にわたります。調査・探求したそれぞれの立脚点から紡ぎ出した素晴らしいものばかりです。この意見発表会は、生きる方向を修正したり、新たな目標を設定したりする啓発的な機会となっています。



田無第二中学校

2020年東京オリンピック・パラリンピック教育推進に向けて

本校は、西東京市立学校教育研究奨励事業指定校として、「『心』と『身体』、『知識』と『実践』のつながりを考え、豊かに逞しく生きる力を育む」を研究主題に、「スポーツ・体力向上・健康」「おもてなしの心」「フェアプレー、努力」「国際理解」「伝統文化」「ユニバーサルマナー／デザイン」「地域理解」に視点を置き、研究・実践をしています。また、元バレーボール日本代表選手の授業講師や外部講師による講演会も行っています。今後も「人生を逞しく生き、そして社会に貢献する人」を育てるために、教育活動を推進していきます。

江藤直美さん
保健体育授業



外国人留学生「国際理解」特別授業



保谷中学校

地域とともに

本校では地域・保護者との関わりを大切にしています。取組の一つが「放課後@カフェ」です。育成会「ひろがり」が主催し、放課後、中学生と地域の大人たちとの大切な交流の場として今年度からスタートしました。市民文化祭をはじめ、青少年問題協議会主催の環境浄化運動、どんど焼き、ミニ運動会など学区内の地域の行事にも部活動単位でボランティアとして、積極的に参加しています。これからも地域とともに歩む学校を目指します。



環境浄化運動
たくさんの生徒が
参加しました



田無第一中学校

放課後@カフェ
地域の方と楽しく過ご
しました

青嵐言の葉大賞

「青嵐言の葉大賞」は、青嵐中学校をもっともっと温かい学校にしたいという思いから始まりました。全校で「言葉の力を感じるとき」というテーマの作文に取り組みました。そして「言の葉大賞」というコンクールに応募するとともに、校内でも「青嵐言の葉大賞」として優秀作品を文化発表会で発表しました。

言葉は時には鋭い刃で人を傷つけます。でも、言葉は人を勇気づけたり、人の心を温かくする大きな力を持っています。温かい心は、温かい言葉を生み、温かい言葉は温かい心を作る、言葉の力を考えることで青嵐中を温かい心でいっぱいにしたい、それが「青嵐言の葉大賞」の願いです。



文化発表会では7人の生徒が作品を発表しました。

青嵐中学校

さまざまな補充学習

田無第三中学校では、学力の補充のため、さまざまな形での補充学習を行っています。

現在、7人の学生ボランティアが放課後、小学校の内容を中心に個別学習を行ったり、授業の補助に入って支援を行ったりしています。さらに、定期考査の前には始業前や放課後に、各教科の先生が希望者を集めて要点の復習や質問教室を開き、考査終了後は合格するまで何度も放課後に再テストを行う教科もあります。また、「三中応援団」という保護者や卒業生の保護者が主催する定期考査前の土曜日、日曜日の午前中に行う学習会には、毎回全校生徒の3分の1前後の生徒が参加しています。



学生ボランティアを紹介

田無第三中学校

文武両道に花咲かす！

ひばりが丘中学校は、「文武両道」を掲げ、生徒主体の活動を進めている躍動感あふれる学校です。学習では、アクティブ・ラーニング（生徒主体の学習スタイル）を推進しています。部活動では、吹奏楽部が銀賞、パソコン部が検定3級合格を果たし、また近年、都大会出場を果たしたテニス部、男子バレーボール部、女子バスケットボール部、陸上部など、それぞれが輝かしい実績を上げています。男子バレーボール部では、ブラジルの黄金時代を築き上げた選手育成のエキスパートコーチを迎え、1週間の特別プログラムを体験しました。その様子は、昨年12月13日に「奇跡のレッスン」（NHKBS-1）で放映されました。



ひばりが丘中学校

【男子バレーボール部】アントニオ・マルコス・レルバッジ氏と記念撮影

人権教育の推進

本校では、平成27・28年度に「東京都教育委員会人権尊重教育推進校」の指定を受けて、さまざまな教育活動の中で、人権感覚を高める取組を行っています。今年度は、人権課題「子供」から、「児童虐待防止」や「いじめや暴力のない学級や学校づくり」を題材とした公開授業や研究協議会も行いました。また、人権課題「アイヌの人々」から、アイヌ文化の体験や講演を通して、アイヌ文化の現状等を正しく理解する学習も行われました。学校全体として、いろいろな視点から、人権感覚を高めて「豊かな人権感覚を育み、人に優しい生徒の育成」を目指しています。



人権課題「アイヌの人々」より

明保中学校

落ち葉拾い隊

毎年、奉仕活動として、学年ごとに校地内や向台公園の落ち葉清掃を行ってきました。今年度から、それに加え生徒会を中心に、全生徒から希望者を募って「落ち葉拾い隊」を結成しました。生徒の登校前に、学校の周囲の道路の落ち葉清掃をすることを始めました。たくさんの生徒が落ち葉清掃をすることで、学校・地域へ貢献する意欲から、晴れやかな気持ちとなり、一日の素晴らしいスタートとなっています。



朝の落ち葉清掃の様子

田無第四中学校



2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて

本年度、東京オリンピック・パラリンピック教育推進校として都から指定を受けている本校では、その一環としてバレーボール元日本代表選手の大林素子さんに講演をしていただきました。

6年後、オリンピックの主役は皆さんだという話を聞いて、思いを新たにしたい柳中生です。



柳沢中学校



生徒の質問に答える大林さん